

PrintTalk 技術の要約

PrintTalk は、グラフィック・アーツ産業で用いられる見積り要請、見積り、注文、その他のビジネス情報を伝達するためのオープンな XML 標準を与えるように努めている電子商取引と印刷管理販売業者の協会です。

2000 年月 9 月 24 日

岸 和孝 訳

訳注 … [～] は、～に対する訳が不明な箇所、…は便宜的な訳に過ぎません。

1 概要

1.1 組織とメンバー構成

PrintTalk は、ビジネス管理システム（BMS : Business Management System）と電子商取引解決策（eCS : e-Commerce Solution）をグラフィック・アーツ産業へ供給している会社から成り、彼らの製品の間で共通でオープンな通信インターフェイスを定義している協会です。会員資格は、この技術に対する関心のあるどのような会社（印刷業者、ソフトウェア販売業者、ハードウェア販売業者、電子商取引会社）にも公開されています。二つの会員資格レベル、支持者、正規会員があります。正規会員は PrintTalk 準拠システムを 6 ヶ月のうちを実現することを約束し、支持者はそうでないことが、この二つの相違です。年会費は、\$2,000 です。

組織には、管理組織を勤める 5 人の幹部がおり、グループの決定を行う九つの実行組織があります。管理組織は、選出された会長と副会長と、指名された市場委員会委員長、技術委員会委員長から成ります。すべての PrintTalk 会員は適任であり、技術と市場の委員会に参加するために奨励されました。会員の詳細については、www.PrintTalk.org で見出せます。

1.1.1 管理組織

会長	Steve Hallberg	(Parsec Inc.)
副会長	Jim Mekis	(Impresse Inc.)
市場委員会委員長	Jess Walker	(Noosh, Inc.)
技術委員会委員長	Norman Furlong	(Impresse, Inc.)
書記	Kip Smythe	(NPES)

1.1.2 実行委員

Collabria, Inc.
 Graphic Arts IT
 httprint
 Impresse Corp.
 Noosh, Inc.
 Parsec Corporation
 printChannel.com
 Printers Software, Inc.

Streamline Solutions

1.1.3 現在の会員

Avanti Computer Systems
Cirqit.com
Collabria, Inc.
Graphic Arts IT
GraphiTech Computer Systems
httpprint
Impresse
MediaFlex.com
MicroInk
Noosh, Inc.
Pace Systems
Parsec Corporation
Press-tige Software
Printable.com
printChannel.com
Printers Software, Inc.
Profit Control Systems, Inc.
Streamline Solutions
WAM!NET

1.2 なぜ PrintTalk は重要なのか

印刷業者が今日扱っている重要な問題は、仕様データをもたらす電子商取引を彼らの見積りソフトウェアと融合します。電子商取引なしで、印刷業者は、彼らの顧客から電話とファックスと電子メールによってその情報を受け取りますが、調達システムの出現がその状況を変えます。電子商取引は、実時間で印刷業者のサイトと印刷の買い手の間でデータを積極的に交換することを除いて、印刷業者のシステムでデータを消費するだけの限界を取り除きます。今のところ、その課題は、印刷業者が頼れる一般に採用されるデータ交換の制定でした。PrintTalk の出現まで、印刷業者は、彼らの見積り担当者の仕事を消費して、誤りがちな手作業によってデータを入力するか、あるいは、彼らの電子商取引とビジネス管理のために、一社の販売業者に彼らを閉じこめる独占的システムを購入する、という二つの選択肢を持っていました。電子商取引産業は、そのような選択を印刷業者に強制

するには未熟です。さらに、自分で調達システムを選択をしたような顧客に印刷業者は直面するでしょう。そして、これらの販売業者からのデータを独占的でない方法で消費できるようにする必要があるでしょう。

その目的に応えるために、PrintTalk 会員は、彼らの任命された基盤や資源や努力にもかかわらず、どのような会社もその努力がうまくできないことを認識しました。多くの場合、印刷業者が一社以上の電子商取引販売業者をサポートすることに直面するだろう、と彼らは理解しました。この問題に対する明らかな解答は、すべての電子商取引販売業者が使用に同意でき、多くのビジネス管理販売業者と印刷業者が頼れる、共通のインターフェイスです。グラフィック・アーツ市場における電子商取引の最大の競争者は、同時に同じことを本質的に決めました。そうした彼らは多くの異なる管理システム販売業者でした。本質において、PrintTalk はふさわしい時が来たという考えでした。

PrintTalk は、ウェブサイト「www.PrintTalk.org」から自由に利用でき、それを消費する能力があるどのような印刷管理システムへの通信も容易にします。

1.3 PrintTalk の目的

ビジネス管理システム販売業者と電子商取引販売業者が共通の目標へ向かって一致協力して働くことの有利さを確認したことで、PrintTalk が開発されました。その共通の目標とは、印刷物の買い手と供給業者の間の通商と仕様のデータを交換するためにすべて利用できる、自由に利用できるオープンな通信標準です。

1.3.1 グループの使命

グループの使命とは、電子商取引アプリケーションと印刷管理システムの間で直接通信するためのオープンな XML 標準に関する全世界の是認を作り実現し取得することです。

この報告書の要点は、不必要で、かつ誤りがちな余分な到達ステップを超えて、買い手のファイアウォール内から印刷業者のファイアウォール内へのデータの直接の通信です。例えば、PrintTalk 会員会社が、印刷ジョブを共同して行うために、買い手と印刷業者によって契約を結ばされる時、彼らは、PrintTalk インターフェイスがある管理システムに直接のリンクを作ります。

1.4 PrintTalk の到達点と状況

1. グループの目標は、GRAPH EXPOR と CONVERTING EXPOR 2000 における仕様の最初の部分を公表し、外部の会社と組織からフィードバックを集めることです。技術的なチームは、毎週集まって、この非常に重要な目標を達成するための途上に

あります。仕様の他の部分が年末に公表されます。

2. 管理システムと電子商取引販売業者コミュニティの両方から新しい会員を得てください。PrintTalk 会員は、グループの発展上適当なフィードバックを得るために、大きい印刷会社からのサポートを得ることが重要であると、思っています。関心は驚くべきもので、我々は GraphExpo の終わりまでに二倍になることを期待しています。
3. 我々の仕事についてのより速く、より広い採用を得るように、大きい標準組織と共にしっかりと働いてください。特に、CIP4 標準グループは、PrintTalk の協調のために理想的に置かれるように見える。二人の重要な CIP4 会員、Adobe と Heidelberg は、PrintTalk について十分に協力的です。そしてそのグループは、前進しているこの関係を保とうと思っています。
4. 仕様書の出版日付の半年内に標準運営の展開を体験してください。GraphExpo で PrintTalk 実現を実演している何社かの販売業者と一緒に、これは途上にあります。

2 技術的定義

2.1 はじめに

PrintTalk は、電子商取引会社と話すための一つの形式を印刷業者のビジネス管理システムに与えます。PrintTalk は、印刷業者、彼らの顧客、彼らの供給業者の間において、仕様とビジネスニーズを通信することについての共通の方法を提供します。顧客ニーズが変更できるように、印刷ニーズは、素早く変更できます。PrintTalk は、買い手が新しい電子商取引提供業者を選ぶ場合に容易に順応するように、また、印刷業者が供給業者と下請業者と仕事をする方法を自動化するように、柔軟性と管理を提供します。二、三の印刷業者が PrintTalk を使って彼ら自身のインターフェイスを作り上げることを選ぶかもしれない一方で、ほとんどの用途は、彼らのビジネス管理システム供給業者の PrintTalk 能力を要求している印刷業者の結果となるでしょう。PrintTalk の仕様では、印刷業者と彼らの顧客の間で自由に利用できるオープンな通信インターフェイスを定義します。PrintTalk の実現では、ジョブ定義形式 (JDF : Job Definition Format) と商業用拡張可能なマークアップ言語 (cXML : Commerce eXtensible Markup Language) の使用を包含します。グループの仕事は、JDF 標準の実現として認識され、その仕事は、JDF 1.0 リリース内に埋め込まれています。印刷産業の端と端とをつなぐコネクティビティ [connectivity] の必要性に集点を当てるために、PrintTalk インターフェイス仕様は、どのような許可料金も使用料もなしに配布されます。

この後に、最初の四つの PrintTalk ビジネス・オブジェクト、すなわち、見積り要請 [Request for Quote] , 見積り [Quote] , 購入注文 [Purchase Order] , 確認 [Confirmation] と仕様を開発するために用いた技術の考え方を記述します。使用例は用意されています。JDF 意図 [intent] リストは、より豊かな説明的な能力を与えるために強化されました。印刷すべき部品を JDF で記述する一方で、PrintTalk のビジネス・ロジックは、広く受け入れられた「商業の」XML 標準である cXML に基づきます。

2.2 技術の考え方

PrintTalk の考え方の基礎を形作ったいくつかの原則は、次のとおりです。

- 相互運用性

電子商取引サイトを使う買い手と、ビジネス管理システムを使う印刷業者は、二つのシステムの間でのデータ通信の詳細を心配しないで、透明にビジネスを行なえるようにすべきです。同様に、PrintTalk 通信チャンネルを介して結び付けられたシステムは、標準と確実な方法で情報が交換できるようにすべきです。

- ・ 利用の容易さ
PrintTalk プロトコルは，理解し実現しやすくすべきです。
- ・ 既存の標準をテコ入れ
すべての試みは，既存の受入れられた標準をテコ入れし，それらの使用を PrintTalk に組み入れるようにするでしょう。
- ・ 任意に複雑なジョブのためのサポート
PrintTalk を使って通信するジョブの大きさや複雑さに関して，どのような制限もないようにすべきです。逆に言えば，単純なジョブを記述することに，複雑さが要求されるべきではありません。
- ・ 柔軟性
次の二つの方法で PrintTalk を拡張する能力。
 1. 会員のニーズに応じて仕様を強化します。
 2. PrintTalk が新しい垂直的市場に入る時，それが作る新しい標準を組み入れます。

2.3 ビジネス・オブジェクトのリスト

次の表は、PrintTalk によって現在サポートされるビジネス・オブジェクトを列挙しています。各々のオブジェクトは、商業印刷産業で利用されるビジネス・トランザクションに対応します。このリストは、PrintTalk 仕様が他のトランザクションと新しい産業をサポートするために拡張される時、拡張することになるでしょう。最初の欄は、ビジネス・トランザクションの名前を列挙しています。2 番目の欄は、その記述と使用です。3 番目の欄は、トランザクションが買い手から印刷業者へ、あるいは印刷業者から買い手へ送られるかどうかを示します。幾つかの場合において、トランザクションは、双方向的に利用されます。

ビジネス・トランザクション	説明	トランザクションの方向
1. 見積り要請 [Request for Quote]	得意先注文として。再注文, カタログ注文, 条件付き注文 [fulfillment orders] には使われない。	買い手→印刷業者
2. 見積り [Quote]	見積り要請に対する応答。契約の申し出として印刷業者を束縛する。	買い手←印刷業者
3. 再見積り要請 [Request for Re-quote]	元の仕様のいかなるものも変わったのでなければ, 以前の見積りへの参照を含む見積り。それは新しい見積り要請 [RFQ] になる。	買い手→印刷業者
4. 再見積り [Re-quote]	元の見積りへの参照。履歴を保存する。	買い手←印刷業者
5. 購入注文 [Purchase Order]	完成した商品注文について, 購入注文 [PO] は, 開始点である。購入注文 [PO] から開始する場合を除き, 買い手を束縛し, 契約を暗示する。	買い手→印刷業者
6. 購入注文応答 [Purchase Order Response]	購入注文に対する肯定的または否定的な応答。	買い手←印刷業者
7. 見積り要請変更 [Change Order Request for Quote]	注文変更のための買い手による開始点。	買い手→印刷業者
8. 注文見積り変更	注文変更のための印刷業者による	買い手←印刷業者

[Change Order Quote]	開始点。	
9. 注文受託変更 [Change Order Acceptance]	見積りと受託の条件が異なるのでなければ、契約する。	買い手→印刷業者
10. 注文変更確認 [Change Order Confirmation]	任意。買い手が受託文書への変更をする場合に必要とされる。	買い手←印刷業者
11. 注文状況報告要請 [Order Status Request]	任意。印刷業者のシステムがリアルタイムで出荷しない場合に役立つ。	買い手←→印刷業者
12. 注文状況更新 [Order Status Update]	製造状態の最新情報と出荷に関する一般的なメッセージ。	買い手←→印刷業者
13. 送り状 [Invoice]	追加的な料金と値引きを含む。	買い手←印刷業者
14. データ授受 [Content Push/Pull]	データがどこに置かれ、どのようにそれを得るかを記述する。	買い手←→印刷業者
15. 報告要請 [Report Request]	報告に関する要請。買い手か印刷業者による。	買い手←→印刷業者
16. 報告 [Report]	報告はジョブに及ぶことができる。	買い手←→印刷業者

3 例

次に PrintTalk 原則を説明する実用的なコードの例です。

3.1 PrintTalk の構造

PrintTalk 実現は、広く採用された、公に利用できる XML 定義で構築されています。電子商取引サービスと印刷管理システムの間的情報の商業的交換を記述するビジネス・オブジェクトは、エンベロープとして cXML 標準を使います。ジョブ仕様は、新しい JDF 標準を使って記述されます。ジョブ仕様は、データ交換の基礎としてビジネス・オブジェクト内に含まれ、印刷マネージャーの評価ソフトウェアの中に場所を占めるようになるでしょう。

3.1.1 XML 文書として符号化された PrintTalk

PrintTalk データ交換のために利用される符号化は、「PrintTalk」の DOCTYPE 宣言を使って、PrintTalk 文書型定義で検証される XML です。文書型定義はまだ公表されてはいませんが、それが用意できた時、自由に利用できるようになります。

すべての PrintTalk オブジェクトは、二つの部分、すなわち、cXML スタイルの Header と Request を含みます。Header は、実際に cXML ヘッダーであり、利用者身元確認と認証情報を与えます。Request は、ビジネス・ロジックを含みます。

```
<?xml version="1.0" encoding="UTF-8"?>
<!DOCTYPE PrintTalk SYSTEM "PrintTalk.dtd">
<PrintTalk version="1.0"
  payloadID="com.sendingcompany.time.globallyuniqueid"
  timestamp="2000-07-15T05:00:00-08:00">
  <Header/>
  <Request/>
</PrintTalk>
```

3.1.2 Header

PrintTalk は、XML 文書を識別し証明するために、From、To、Sender のヘッダー形式を使います。ビジネストランザクションを作り出したものは、From セクション、To セクションの受け手、Sender セクションがあれば、その送り手の代理人で識別されます。

```
<Header>
  <From>
    <Credential domain="DNS">
      <Identity>APrintBuyer.com</Identity>
    </Credential>
  </From>
  <To>
    <Credential domain="DNS">
      <Identity>AnExcellentPrinter.com</Identity>
    </Credential>
  </To>
  <Sender>
    <Credential domain="DNS">
      <Identity>AnE-commerceCompany.com</Identity>
      <SharedSecret>password</SharedSecret>
    </Credential>
    <UserAgent>Print Buyer v.54.9</UserAgent>
  </Sender>
</Header>
```

3.1.3 Request

Request は、Components セクションと、ID によって関連した Components を参照する個々の具体的な要求のためのセクションを含みます。RFQ の場合において、RFQ の Components は、ShippingAddress、ShippingMethods、Jobs となるでしょう。個々の RFQ は、Components セクションにおける Addresses、ShippingMethods、Jobs への IDRefs を伴う次のようなセクションとなるでしょう。例については、RFQ を参照してください。最も単純な Quote は、Components セクションを必要としません。なぜならば、RFQ が修正なしで値付けされる場合、RFQ 自身は、BuyerID と BuyerAuxID のフィールドを使うことによって、そのまま参照されるかもしれません。この用法については、Quote を参照してください。

「Request」のラベルを付けた XML タグは、cXML 構成体であり、Quote ビジネス・オブジェクトのための Request とどのような意味に関する関係もないことに注意してく

ださい。すべての PrintTalk オブジェクトは、XML 要素の「Request」を含みます。

Contact, ShippingMethod, Date はすべて cXML 仕様から借りたものです。Contact は、副要素として Address 情報を含みます。詳細は、cXML 仕様で見つけられるかもしれませんが。PrintTalk は、すべての PrintTalk オブジェクトにおいて日付として cXML 日付形式、つまり"2000-07-15T05:00:00-08:00"を利用します。

3.1.4 ジョブ定義

Request から xxxComponents の範囲内において、ジョブまたは「印刷される必要があるもの」を参照するどのような PrintTalk ビジネス・オブジェクトの部分も「Jobs」のラベルを付けたセクションに置かれます。Jobs セクションの範囲内に、その各々が厳密に一つの「Spec」を含む個々のジョブがあります。Spec は、JDF 仕様によって定義されるものとして、JDF ノードから完全に成ります（完全な仕様については、<http://www.job-definition-language.org> を参照してください）。

3.1.5 JDF ノードの例

この JDF の例は、JDF の重要性を正確に反映していません。これは、JDF が PrintTalk の範囲内で利用される方法を簡単にした例にすぎません。JDF のより完全な例は、JDF 仕様で見出すことができます。この小文は、JDF 草案 Spiral 3.21 で利用できる情報に基づいています。買い手の意図を記述するために利用される JDF の Intent（意図）定義の多くが PrintTalk 協会によって設計され、そして JDF 仕様のより後期の草案に含められていることに注目してください。

```
<JDF ID="Job1SpecJDF1.1" Type="Product">
  <Comment>表紙</Comment>
  <ResourcePool>
    <InkingIntent/>
    <MediaIntent/>
    <SizeIntent/>
    <ProofingIntent/>
    <LaminatingIntent/>
  </ResourcePool>
</JDF>
```

3.2 見積り要請 [Request for Quote]

次は、PrintTalk の見積り要請 [Request for Quote] オブジェクトに特有の項目です。

3.2.1 最上位の見積り要請 [RFQ]

訳注：買い手 (RFQ-50) →印刷業者。

```
<RequestForQuote currency="USD">
  <BuyerID>RFQ-50</BuyerID>
  <BuyerAuxID>RFQ-50-internal</BuyerAuxID>
  <DueDate>2000-08-01T16:00:00-06:00</DueDate>
  <Description>完全に装丁した書籍のための要求。</Description>
  <Contacts/> <!-- cXML 標準の連絡先形式 -->
  <RequestForQuoteComponents/>
  <IndividualRequestForQuotes/>
</RequestForQuote>
```

3.2.2 見積り要請構成要素 [RFQ Components]

実際の要請のすべては、このセクションに置かれます。

```
<RequestForQuoteComponents>
  <ShippingMethods/> <!-- cXML 標準の出荷方法形式 -->
  <Addresses/> <!-- cXML 標準の住所形式 -->
  <Jobs>
    <Job jobID="Job1">
      <Name>私のジョブ</Name>
      <JobType>書籍</JobType>
      <Comment/>
      <Description>144 ページからなる、完全に装丁した私の書籍。</Description>
      <Spec>
        <JDF/><!-- これは JDF ノードが行く所です。 -->
      </Spec>
    </Job>
  </Jobs>
</RequestForQuoteComponents>
```

3.2.3 個々の見積り要請 [RFQ]

実際の要請のすべては、このセクションに置かれます。DeliveredJob 要素は、見積りを必要とする項目を含みます。DeliveredJob において、ジョブに対して、数量（quantity）と日付（date）が属性として直接含まれます。出荷先住所（addressIDREF）と出荷方法（shippingMethodIDREF）は参照によって含まれます。

```
<IndividualRequestForQuotes>
  <IndividualRequestForQuote>
    <DeliveredJob quantity="7500" date="2000-07-31T05:00:00-08:00"
      jobIDREF="Job1" addressIDREF="Address1"
      shippingMethodIDREF="ShippingMethod1">
      <AdditionalQuantities>
        <AdditionalUnit>1000</AdditionalUnit>
      </AdditionalQuantities>
    </DeliveredJob>
  </IndividualRequestForQuote>
</IndividualRequestForQuotes>
```

3.3 見積り [Quote]

次は、PrintTalk の見積り [Quote] オブジェクトに特有の項目です。

3.3.1 最上位の見積り [Quote]

訳注：買い手 (RFQ-50) ←印刷業者 (Quote-23)。

```
<Quotes>
  <!-- 見積り要請 [RFQ] からの BuyerID と BuyerAuxID -->
  <BuyerID>RFQ-50</BuyerID>
  <BuyerAuxID>RFQ-50-internal</BuyerAuxID>
  <SupplierID>Quote-23</SupplierID>
  <SupplierAuxID>Quote-23-internal</SupplierAuxID>
  <!-- ExpirationDate: 見積り期限が切れて無効になる時。 -->
  <ExpirationDate>2000-08-15T00:00:00-08:00</ExpirationDate>
  <Description>144 ページからなる, 完全に装丁した私の書籍。</Description>
  <Detail>記述についてのより長いバージョン。</Detail>
  <SupplierTerms>net30</SupplierTerms>
  <Contacts/>
  <Quotations/>
</Quotes>
```

3.3.2 見積り [Quotations]

実際の見積りのすべては、このセクションに置かれます。

```
<Quotations>
  <Quotation>
    <SupplierID>Quote-23</SupplierID>
    <SupplierAuxID>Quote-23-internal</SupplierAuxID>
    <Comment>date により Address100 へ引き渡される 7500 部の Job150s。</Comment>
    <IndividualRequestForQuote>
      <BuyerID>RFQ-50</BuyerID>
      <BuyerAuxID>RFQ-50-internal</BuyerAuxID>
    </IndividualRequestForQuote>
    <QuotationPriceSet>
      <PriceSet>
        <Price>25800.00</Price>
        <Tax>2128.50</Tax>
```

```
<PriceAdditionalQuantities AdditionalUnit="3500.00"/>
</PriceSet>
</QuotationPriceSet>
</Quotation>
</Quotations>
```

3.3.3 見積り構成要素 [Quote Components]

任意のセクション。印刷見積りをする人がどのような方法においても見積り要請 [RFQ] 仕様と異なる項目に値を付けたいと望む場合に利用される。これは出荷先住所、出荷方法、ジョブ仕様情報を変更することを含みます。RequestForQuoteComponents との類似性に注意してください。

```
<QuoteComponents>
  <ShippingMethods/>
  <Addresses/>
  <Jobs/>
</QuoteComponents>
```

3.4 購入注文 [Purchase Order]

次は、PrintTalk の注文 [Order] オブジェクトに特有の項目です。

3.4.1 最上位の購入注文 [Purchase Order]

訳注：買い手 (RFQ-50, PO100) →印刷業者 (Quote-23)。

```
<PurchaseOrder orderDate="2000-07-26T17:00-08:00" type="new">
  <!-- type：再注文のために、それを必要とするかもしれないということを思い出させるものとして残します。 -->
  <!-- 見積り要請 [RFQ] からの BuyerID と BuyerAuxID -->
  <BuyerID>RFQ-50</BuyerID>
  <BuyerAuxID>RFQ-50-internal</BuyerAuxID>
  <PurchaseOrderId>PO100</PurchaseOrderId>
  <Contacts/>
  <Comment/>
  <BuyerTerms/>
  <PurchaseOrderItem/>
  <BillTo/>
  <!-- 合計が見積り [Quotation] によって暗示されていますが、見積りにどのような混乱もないことを確かめるために、合計を含みます。 -->
  <Total>
    <Money currency="USD">12.34</Money>
  </Total>
</PurchaseOrder>
```

3.4.2 購入注文項目 [PO Items]

各々の購入注文 [Purchase Order] の行項目は、このセクションに置かれます。Quotation セクションが元の Quote (見積り) に再び問い合わせることに注目してください。

```
<PurchaseOrderItem>
  <Quotation>
    <SupplierID>Quote-23</SupplierID>
    <SupplierAuxID>Quote-23-internal</SupplierAuxID>
  </Quotation>
</PurchaseOrderItem>
```

購入注文 [PO] で数量が変わる場合、完全に新しい見積り [Quotation] を作る代わりに DeliveredJobQuantityOverride タグを使ってください。

```
<PurchaseOrderItem>
  <!-- 数量は見積り [Quotation] に関係している DeliveredJobs の数量に上書きする。
-->
  <Quotation>
    <SupplierID>Quote-23</SupplierID>
    <SupplierAuxID>Quote-23-internal</SupplierAuxID>
    <DeliveredJobQuantityOverride quantity="1000" deliveredJobId="1"/>
  </Quotation>
  <Total>
    <Money currency="USD">15.77</Money>
  </Total>
</PurchaseOrderItem>
```

3.5 購入注文応答 [Purchase Order Response]

次の項目は、PrintTalk の購入注文応答 [Purchase Order Response] オブジェクトに特有です。それは実に簡単です。

訳注：買い手 (RFQ-50, PO100) ←印刷業者 (Quote-23)。

```
<PurchaseOrderResponse purchaseOrderResponseDate="2000-07-26T17:00-08:00"
    accepted="true">
  <Contacts/>
  <PurchaseOrder orderDate="2000-08-29T17:00:00-08:00" type="new">
    <BuyerID>RFQ-50</BuyerID>
    <BuyerAuxID>RFQ-50-internal</BuyerAuxID>
    <PurchaseOrderId>PO100</PurchaseOrderId>
  </PurchaseOrder>
  <Comment>印刷業者からの注釈</Comment>
</PurchaseOrderResponse>
```

4 さらに詳細な情報について

これらは二、三の例でだけで、決して PrintTalk のすべての特徴を表わしていません。まだその初期において、PrintTalk 協会は、PrintTalk 仕様を改訂し拡張することを続けています。最新の仕様と例については、ウェブ・サイト (<http://www.printtalk.org>) を訪ねてください。